

看護部
だより

ナースキャッツ

No.19

3階病棟は

片付け上手



3階病棟 主任看護師
西尾 一枝

今年度、3階病棟では『5S活動に取り組み』を、病棟目標にあげて、活動してきました。「5S」の意味は、整理、整頓、清潔、清掃、躰の5項目です。言葉の意味から学ぶ状況でしたが、昨年、病棟合併を行なった際、東西の物品の場所が分からなかった事からも、整理整頓は、日常的に必要な事だと感じていました。スタッフ一人一人が関わるように、片付ける場所毎に担当者を決めました。「片付け隊」と名付けたチームは、物の整理整頓を行い、物の表示を明確にするため、テープを貼って、定位置を定めました。途中から、スタッフの意識が変わり、自ら整理に目覚め、新たな取り組みがされていきました。紹介された感染防御を意識した、ワゴンの物品配置も、スタッフの工夫が凝らされています。(写真①)

ゴミの分別に関しても、定位置を決めたことで、捨てるべき場所に捨てる意識ができています。(写真②) まだ、5S活動としての徹底さは、不足していますが、みんなが意欲的に取り組んでくれ、波及効果もみられた事は良い成果だと思っています。



写真②



写真①

看護研究学会に 行ってきました

5階東病棟 看護師 田辺雪乃

昨年度、看護研究のテーマを『癌患者とその家族を、一つの単位として捉え、援助方法を考える』として、事例検討を行いました。患者、家族を含めた面談を行い、それぞれの想いを聴いて、看護を展開しました。今回、東海北陸地区看護研究学会で発表してきました。

発表後の質疑応答で、客観的な意見ももらい、自分たちの看護研究の未熟さを感じました。他の研究発表

を聞くことで、日々の看護を見つめ直すよい機会となりました。また、川嶋みどり先生の『相手と共に生きる看護』という講演は、自分たちの看護研究と合い通じるものがあり、共感しました。



右が発表者 田辺雪乃さん

輝きナース

パート 4

「バトミントンでリフレッシュ」

看護師 佐野雅人

バトミントンは、病院に就職してから始めました。仕事が忙しく、行けない日もあります。月に2〜3回行っています。

バトミントン部はドクターや放射線技師などたくさんの方々が集まり、皆でワイワイ汗を流しています。

体力UPやストレス解消の他に、クラブを通じて知り合いが増え、仕事をする中でも声が掛けやすくなりました。私生活でも、スノーボード、他のスポーツを一緒にやり、充実した日々を過ごしています。



右が佐野雅人さん